

第2回 新潟市亀田あけぼの会館
指定管理者申請者評価会議 会議概要

1 開催日時 令和2年10月7日(水) 午後2時～午後3時

2 会場 江南区役所 3階 301会議室

3 評価会議委員(五十音順、敬称略、全員出席)

氏名	職名等
小嶋 徹	税理士法人信越会計 代表社員
新保 正廣	亀田第60区自治会 会長
立川 博史	亀田繊維工業協同組合
湯田 昭子	亀田東小学校区コミュニティ協議会 事務局長

4 傍聴者

2名

5 会議内容

- (1) 会議進行【公開】
- (2) プレゼンテーション及びヒアリング【公開】
- (3) 採点・評価【非公開】
- (4) 結果報告・講評【公開】

6 結果

指定管理者申請者(1団体)から提出された事業計画書等についてプレゼンテーション及びヒアリングを行い、各委員から採点・評価を行っていただいた。その結果、すべての項目において基準点を超える得点であった。

7 ヒアリング内容

【予約について①】

(委員)

3日前までに予約となっているが、2日前とか1日前では予約は出来ないということなのか。

(申請者)

はい。

(委員)

仕方ないといえば仕方ないが利便性が悪くなる。切り詰められているからね。それは我慢するしかないと思う。料金は今までよりは少しは安くなるのですか。

(事務局)

条例で定められており今までと同じです。

【予約について②】

(委員)

あけぼの会館は3日前の予約ということで、市民会館と交流センターの方も同じように3日前なのでしょうか。

(申請者)

当日でもかまいません。市民会館と交流センターに関しては。

(委員)

当日でもいいということで、ただ、あけぼの会館については、人員を派遣する手続きとかそういうものがあるので、3日前ということなのですね。

(申請者)

例えば当日、あけぼの会館の方が利用したいということでも、こちらの方から人員が派遣できない場合もありますので、そうしたらかえって利用者の方にご迷惑がかかるので、やはり3日くらいあればこちらの方で人員は派遣できますし、調整も可能なので、そのように考えております。

(事務局)

事務局から補足ですけれども、3日前というのは人員配置の観点から、このように管理してくださいという市で作成した仕様書があるのですけれども、この仕様書で3日前ということであってあります。私どもの方で、そのぐらいの日数があれば対応できるのではということで仕様書に盛ってある内容で、それに基づいて、申請者がそれに準じる形で提案してくださっているということです。

(委員)

ということは、例えば市民会館を今日使いたいだけでも、いっぱい使えませんということになったら、今ほどお話があったように、もしだったら交流センターとか、あけぼの会館を紹介するというふうなことです。当日に限ってはあけぼの会館の紹介はできないということになりますね。

(申請者)

そうですね。

(委員)

分かりました。

【予約について③】

(委員)

今、話を聞いたら、やはり最低限の運営の仕方なのです。説明を聞くとね。こちらも我慢するしかない。現実には、もう当日予約するということはないですよ。私たちも全部計画に基づいてやるから、半月前とか1か月前とかに今まで予約していたから、そういうことはないと思うから、3日見てもらえば十分だと思う。

(申請者)

ありがとうございます。

【タブレットの利用について】

(委員)

市民会館と一体型で運営を切り替えていくということなのですけれども、今、ご説明にあったようにタブレットを使用していますよね。これは利用者が利用できるのですか、それとも施設の方の管理なのですか。

(申請者)

施設の方ですね。

(委員)

施設の方がタブレットで調整していくと。

(申請者)

市民会館で埋まっていたら、電話による利用受付で、今ここが空いているのでどうですかとかというような仕組みです。

(委員)

それは一つあるとは思うのですけれども、もう少し利便性を上げるために、ホームページを作っていらっしゃいますよね、江南区と別の外部サイトというか。あそこに一般的な人が利用しやすいように、ホームページも作られるようですから、ホームページで交流センターの予約状況を見れますよね、今。ああいう仕組みをあげばの会館でも、市民会館でもとっていないみたいだから、そういうものも導入したほうが、より促進策にはなるのではないかと考えて、提案したいと思います。

(申請者)

亀田市民会館に対しては今、インターネット予約になっているので、市のホームページからすべて予約状況が見れる状況なのです。

(委員)

全部の施設がですか。

(申請者)

はい、そうです。市民会館については。ただ、交流センターについては、公共予約システムが入っていないので、それでなかなか市民の方が状況が見れないということを勘案して、今、ホームページの方で大体の予約状況を見られるようにしているというシステムを今とっているの

で、当然あけぼの会館も同じような状況での、ホームページで見られるようなシステムは投入していくつもりでいます。

(委員)

そうですか、ありがとうございます。

【施設管理について】

(委員)

この予算内で適当な計画だと思いますが、実際に防災関係、コロナの関係での未来的なことを確認したいのですけれども、予約時間の何分前に配置して、どのようなコロナの対策をとるのか、熱を測って消毒というのはあるのでしょうか、というのと、その後、だれもいないときには、鍵をかけてしまって入れないようにするのか。防犯上、どのように取り組んでいくのか教えていただきたいと思います。

(申請者)

基本的には予約の30分前に入って、まず環境整備をします。そして、先ほど言いました消毒、マスク着用、検温、こういったものを基本的にはやっただくということです。当然、利用がないときには鍵をかけて管理をします。機械警備になりますけれども、管理するというような形になります。

当然、利用がないときは行かないということになると、当然環境整備がゆきとどかなくなる可能性がありますので、そこはもちろん定期清掃という予算を組んでいますので、その中で最低月に1回はきちんと清掃をするということです。

(委員)

最近、火災等がけっこう多いものですので、その辺の確認と、あと、今、亀田市民会館と一体という話がありましたけれども、仮にそちらが更新できなかつたら、こっちもできないという話になってくるのですか。

(申請者)

そうなります。

(委員)

そういうことを考えて、多分入札を申し込んだと思うのですけれども、そこがあるから実際にできるということで、考えていただいたということによろしいですか。ありがとうございます。

【予算について】

(委員)

派遣対応で申込者数は多かった場合、派遣時間が増えるわけじゃないですか。その際に予算オーバーする可能性がありますけれども、その辺は何とかバランスをとって。

(申請者)

そうです。

(委員)

利用者の数によって変わってきますものね。

(申請者)

あくまでこの予算は、前年データを見せていただいたうえでの積算なので。

(委員)

そうですね。